

# 令和2年度 施設評価

～持続可能な最適な公共施設サービスを提供するために～

令和3年7月  
宮崎市企画財政部  
行政経営課





## 目次

1	背景と目的 .....	4
2	施設評価の概要 .....	4
3	令和2年度 of 取組 .....	4
4	「総合評価」の結果(まとめ) .....	6
5	「総合評価」等の決定(意見募集の結果) .....	8
6	「総合評価」等の結果(利用用途別分類ごとのまとめ) .....	10
	スポーツ施設(広域・市域) .....	10
	市営住宅等施設 .....	12
	あり方を検討の施設 .....	16
7	パブリックコメントの実施結果 .....	19
8	施設利用者のアンケートの実施結果 .....	20
9	令和3年度以降(3巡目)の施設評価の考え方について .....	26
(資料編)		
1	施設評価の定義 .....	28

## 1 背景と目的

宮崎市は、これまで人口増加や市民ニーズの多様化などに対応するため、さまざまな公共施設を整備してきました。公共施設の多くは、30年以上を経過した老朽化が進んでいる施設であり、今後、多額の修繕更新費用（大規模な改修や建て替えの費用）が必要となる見込みです。

その一方で、本市の人口は、平成25年度をピークに減少に転じており、今後、生産年齢人口の減少による税収の減、老年人口の増加による社会保障費の増など、本市の財政は、さらに厳しさを増してくると見込んでいます。

このような状況を踏まえ、本市が、将来にわたって、真に必要な公共施設サービスを提供するため、本市にとって最適な量の公共施設を保有すること（以下「総量の最適化」という）、長寿命化や維持管理費の縮減、使用料の適正化などによる費用対効果を高めること（以下「質の向上」という）、限られた経営資源の投資対象となる公共施設サービスを厳選し、経営資源を重点的に投資すること（以下「投資の厳選」という）を目的として、平成25年度から施設評価を実施しています。

## 2 施設評価の概要

本市の公共施設のうち、道路や上下水道などのインフラ施設を除いた、庁舎や公の施設などのいわゆる「ハコモノ」の施設を評価対象とします。

施設評価では、公共施設の定量的な要素（建物の劣化や利用、収支の状況など）をもとに基礎的な評価を実施した上で、定性的な要素（類似施設の有無や防災対策など）の分析を勘案し、「総合評価」を作成。「総合評価」に対する市民の意見を踏まえ、最終の評価として決定します（5ページ参照）。

なお、年数が経過すると施設の経営状況や取り巻く環境が変化しますので、評価後も引き続き保有する施設は、あらためて施設評価を実施していきます。

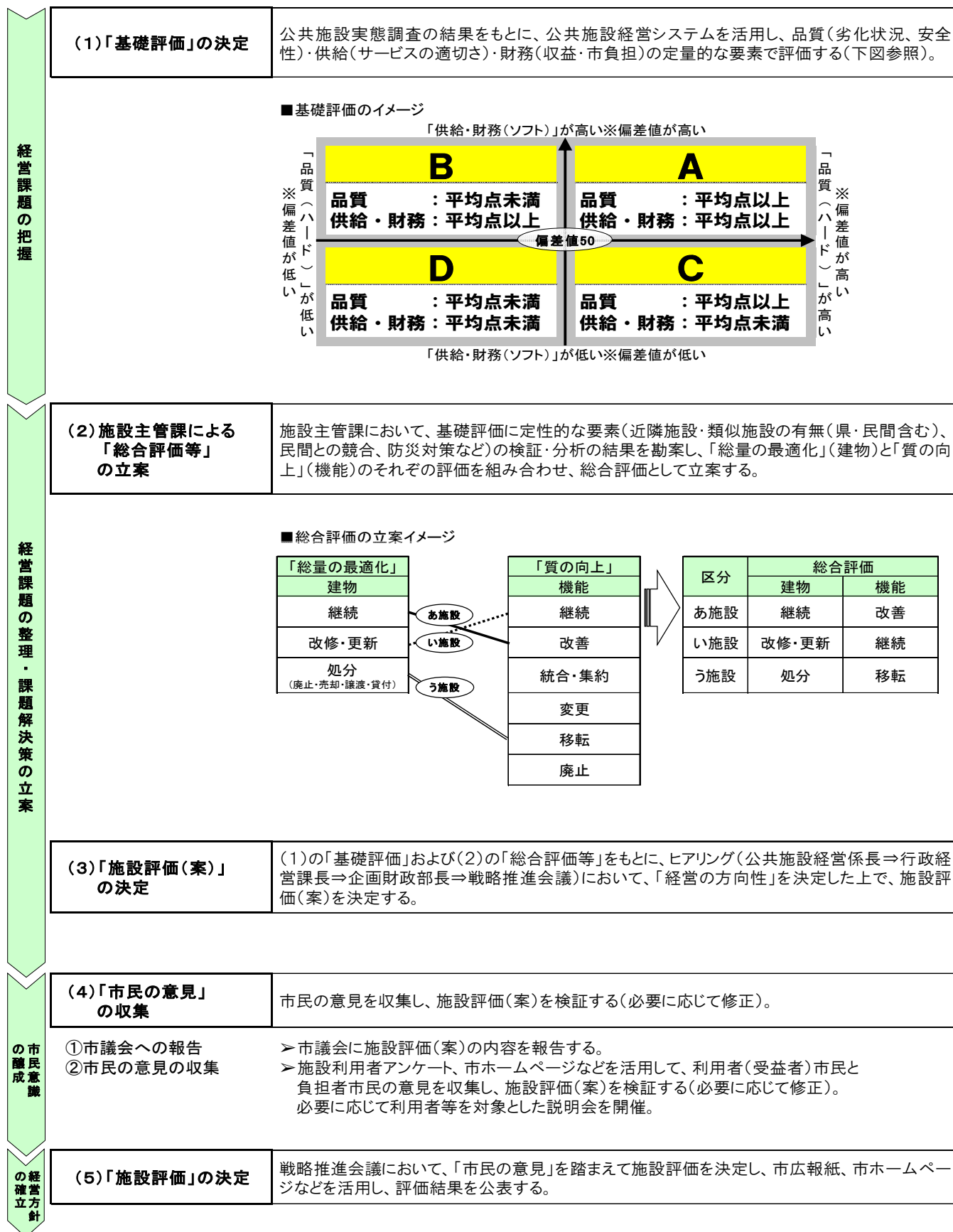
## 3 令和2年度の実施

令和2年度は、利用圏域分類が「広域・市域」のスポーツ施設の一部、利用圏域分類が「地域」の市営住宅等施設の56施設を評価しました。

今回、これらの施設に係る「総合評価」及び「今後の経営の方向性」（将来にわたって適正な施設経営に取り組む利用用途ごとの指針）に加え、「令和2年度までにあり方を検討」の評価となっていた24施設の「総合評価」を作成しました。

それぞれの案に対する市民の皆さんのご意見を収集し、それを踏まえ、最終的な「総合評価」、「今後の経営の方向性」を決定しました。

## ■施設評価の仕組み



## 4 「総合評価」の結果（まとめ）

### （１）「総合評価」とは

近隣施設・類似施設の有無（県・民間含む）、民間との競合、防災対策の有無、交通事情、人口動向などの定性的な要素を基礎評価に勘案し、建物の「総量の最適化」と機能の「質の向上」をそれぞれ評価することを「総合評価」とします。

「総合評価」は、市役所内で検討した案にとどまり、最終的な評価ではありません。「総合評価」の妥当性や的確性などを検証するため、案に対する市民の皆さんの意見を募集し、その意見を踏まえ、最終的に「総合評価」を決定します。

### （２）具体的な評価の内容

「総合評価」では、「利用用途別分類」（利用状況の実態で分類すること）と「利用圏域別分類」（「広域・市域」、「地域」、「地区」といった対象利用者の居住範囲で分類すること）を組み合わせた分類単位で評価します。

評価は、基本的に、①「総量の最適化」の視点による「建物の評価」と②「質の向上」の視点による「機能の評価」を組み合わせたもので、それぞれ基準の評価を設定しています（下表参照）。

なお、評価によっては、統合と集約を組み合わせた評価となったり、機能を統合または集約する施設を決めるための検討期間が必要な場合、評価後の再配置計画において具体的な内容を決定する評価となったりする場合があります。

#### ■評価と評価の内容

区分	基準の評価	評価の意味
①建物の評価 （「総量の最適化」の視点）	継続	3～5年程度、現状どおり
	改修・更新	5年以内に、大規模改修または建て替えに着手
	処分（廃止、売却・譲渡、貸付）	5年以内に、廃止または民間等への売却・譲渡、貸付
②機能の評価 （「質の向上」の視点）	継続	3～5年程度、現状どおり
	改善	5年以内に、供給（利用者数や稼働率、サービス内容など）・財務（管理経費や市負担額の削減など）を改善
	統合	5年以内に、他の施設と機能を統合（同じ機能（利用用途別分類）を一つにまとめること）
	集約	5年以内に、他の施設と機能を集約（異なる機能（利用用途別分類）を一つにまとめること）
	変更	5年以内に、機能を変更
	移転	5年以内に、別の施設に機能を移転
	廃止	5年以内に、廃止

※「評価の意味」における年限については原則とするが、個別施設計画を策定した施設については個別施設計画の年限に合わせる。また、社会情勢の変化等により、やむを得ない場合は柔軟に対応する。

### （３）「今後の経営の方向性」とは

施設の利用用途別分類ごとに将来にわたって適正な施設経営に取り組む指針となります。評価が終わった施設は、それぞれの「今後の経営の方向性」に基づき、適正な施設経営に取り組むこととなります。

#### (4) 総合評価の結果

今年度は、利用圏域分類が「広域・市域」のスポーツ施設の一部、利用圏域分類が「地域」の市営住宅等施設の56施設を評価し、「総合評価」におきまして、何らかの見直しの評価となったのは11施設でした。

また、「令和2年度までにあり方を検討」の評価となっていた24施設を評価し、「総合評価」におきまして何らかの見直しとなったのは19施設でした。

結果として、対象施設80施設のうち30施設が何らかの見直しの評価となりました。

#### ■「総合評価」の総括表(網掛け部分が見直しの評価) ※うち、( )内が「令和2年度までにあり方を検討」となっていた施設

		機能の評価						建物評価 合計
		廃止	移転	統合・集約	改善	あり方を検討 (再評価)	継続	
建物の 評価	処分 (廃止、売却・譲渡等)	8(3)						8
	改修・更新						5(0)	5
	あり方を検討 (再評価)					17(16)		17
	継続						50(5)	50
機能評価 合計		8	0	0	0	17	55	80

#### ■「総合評価」が見直しとなった主な施設 ※うち、網掛けが「令和2年度までにあり方を検討」となっていた施設

総合評価		施設名
建物の評価	機能の評価	
処分 (廃止、売却・譲渡)	廃止	都甲路団地、旧高岡町有住宅4施設(雁ヶ峰、旧国交、山下、国際交流)、児童プール3施設(丸山・飛江田・富吉)
改修・更新	継続	新町団地、追手団地、平和が丘団地、国富が丘団地、祇園団地
あり方を検討 (再評価)	あり方を検討 (再評価)	宮崎市青島パークゴルフ場、宮崎市自然休養村センター、宮崎市道の駅フェニックス、大淀川学習館、宮崎科学技術館、児童プール12施設(檉・恒久・上水流・霧島・御幸・平和が丘・跡江・田代・希望ヶ丘・広原・大塚台・木花)

## 5 「総合評価」等の決定（意見募集の結果）

### （１）意見募集の目的

公共施設は、教育や福祉、地域活動の拠点として、また、災害時における避難場所として、市民生活に大きな役割を果たしており、欠かすことができない「財産」となっています。

そこで、施設評価の透明性を向上させるとともに、市民の皆さんのご意見を踏まえ、公正かつ適正に「総合評価」および「今後の経営の方向性」（以下「総合評価」等という）を決定するため、それぞれの案に対する市民の皆さんのご意見を募集しました。

### （２）意見募集の方法

パブリックコメント、施設利用者のアンケートの２つの方法により、「総合評価」等に対する市民の皆さんのご意見を募集しました。具体的な募集期間および対象の「総合評価」等は、下表のとおりです。

#### ■募集の方法

募集方法 (募集期間)	総合評価	今後の経営の方向性
パブリックコメント (2月22日～3月23日)	全部	全部
施設利用者のアンケート (2月22日～3月23日)	宮崎市青島パークゴルフ場、宮崎市自然休養村センター、宮崎市道の駅フェニックス、大淀川学習館、宮崎科学技術館	

### （３）意見募集の結果

パブリックコメントにつきましては意見はありませんでしたが、施設利用者アンケートでは、運営に関するご意見のほか、施設の有効活用に関するご意見や老朽化した施設の改修や更新などのご意見がありました。（１９～２５ページ参照）。

### （４）「総合評価」等の決定

上記（３）の結果を踏まえ、「総合評価」および「今後の経営の方向性」については原案どおり決定しました（１０～１８ページ参照）。

※パブリックコメントについては、宮崎市パブリックコメント制度実施要綱に基づき、趣旨が不明や賛否のみなどの意見はその他または不明として取り扱っています。また、施設利用者のアンケートは、パブリックコメント制度に準じて実施していますので、同様の取り扱いとしています。



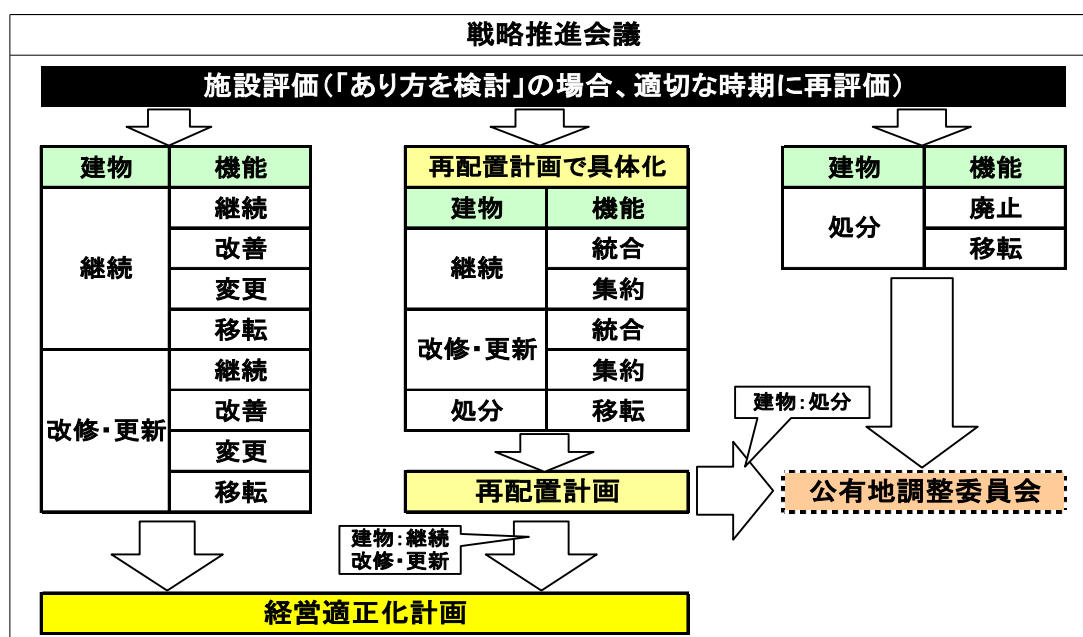
## ■結果の概要

募集の方法	「総合評価」に対するご意見	「今後の経営の方向性」に対するご意見
パブリックコメント	○回答数 0件	○回答数 0件
施設利用者のアンケート ※詳細は21～25ページ	○回答数(意見数) 18件(60件。うち不明42件) ○主な意見と市の回答 ➢5施設のうち、回答の対象となる意見があったのは3施設でした。 ➢施設の運営に関する意見のほか、施設の有効活用に関する意見や老朽化した施設の改修や更新などに関する意見がありました。 ➢すべての施設を将来にわたって保有することが困難なことから、修正せずに原案どおりとし、いただいた意見は今後の施設経営の参考とします。	

## (5) 今後の対応

継続して保有する施設は、「今後の経営の方向性」に基づいて経営適正化計画を作成し、適正な施設経営に取り組みます。また、建物を処分する施設は、公有地調整委員会において、具体的な処分の方法を検討します。評価別の今後の対応は、下図のとおりです。

## ■評価別の今後の対応



## 6 「総合評価」等の結果（利用用途別分類ごとのまとめ）

### スポーツ施設（広域・市域）

※施設の詳細な情報は 11～15 ページの施設カルテを参照してください。

#### 【スポーツ施設とは】

市民の多種多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援する施設です。このうち、利用圏域別分類が「広域・市域」の施設については、平成29年度に施設評価を行っておりますが、「宮崎市青島パークゴルフ場」は、これまで民間所有の土地建物について無償の貸借契約を締結していましたが、令和2年度から有償となることから、施設運営状況が変化するため、令和2年度にあらためて評価しました。

なお、今後の経営の方向性については、平成29年度の施設評価で決定していますので、今回は総合評価のみを策定しています。

#### 【施設の現状と課題】

「宮崎市青島パークゴルフ場」は、パークゴルフ愛好者を中心に幅広い世代の市民に親しまれているスポーツ施設であるとともに、観光地青島地区の誘客施設の一つでもあります。

しかしながら、運営面では、利用人数が横ばいの状況が続いていることから、指定管理者と密に連携し、施設の広報活動等、より一層の経営改善に取り組む必要があります。

また、土地建物等の貸借契約が有償となることにより、今後の施設運営状況が変化することから、本市へ及ぼす影響を整理するために、施設のあり方を検討する必要があります。

【「総合評価」】

施設 番号	施設名称	施設主管課	所在地	総合評価	
				建物の評価	機能の評価
1	宮崎市青島パークゴルフ場	スポーツランド推進課	加江田7470-3	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。

## 市営住宅等施設

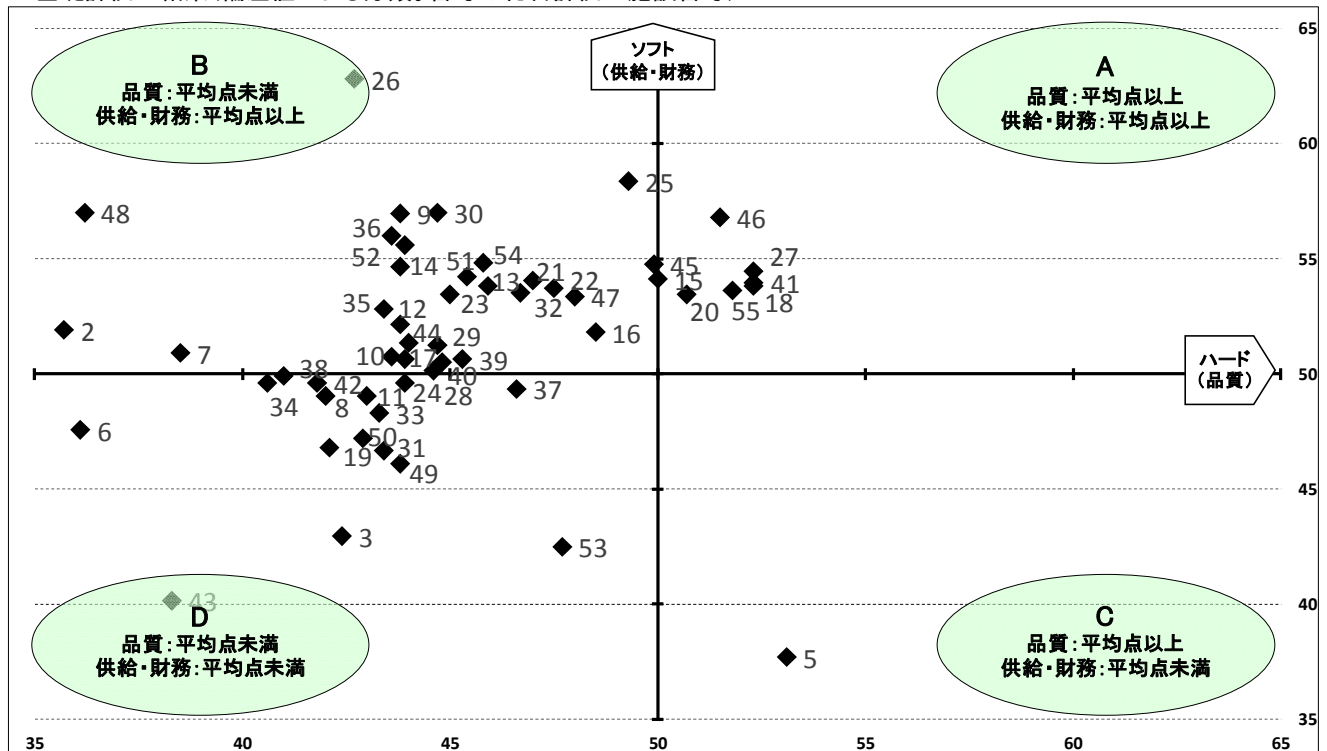
※施設の詳細な情報は16～290ページの施設カルテを参照してください。

### 【市営住宅等施設】

市が供給する住宅のほか、これらの住宅の居住者が利用する集会所の施設です。令和2年度は、平成28年度施設評価で建物及び機能の評価が「処分・廃止」となった施設以外の市営住宅等施設をあらためて評価しました。

### 【現状と課題】

■基礎評価の結果(偏差値による分類。番号は総合評価の施設番号)



品質の平均偏差値が44.5、平均築年数が31.2年となっており、老朽化が進んでいます。また、全体入居率が84.4%となっており、改善の余地があります。

平成28年度に策定の「宮崎市公営住宅等長寿命化計画」(計画期間:10年間)では、現在保有している建物を全て修繕更新した場合、昭和50年代前後に大量に建設された建物の建替等に伴い、令和7年度から多額の事業費が必要になると見込まれています。

そこで、管理戸数の削減や建て替え・改善等の前倒し・延伸をすることで事業費の平準化を図り、公営住宅建設資金特別会計(公営住宅に係る収入(使用料や国庫補助金など)と支出(建設費や維持管理費など)の経理を適正に管理するための特別会計)が収支均衡となるように努めていくこととしております。その取り組みとして、「新町・追手団地」は、限られた財源の中で、効率的かつ効果的な事業を実施するためにPFI事業による建て替えを実施する予定です。

また、「旧高岡町有住宅」については、今後、建て替えを行わないため「廃止」の評価とすることとします。

## 【「総合評価」等】

### ①今後の経営の方向性

平成28年度に策定の「宮崎市公営住宅等長寿命化計画」（計画期間：10年間）に基づき、適正な戸数管理への誘導や将来にわたる事業費の平準化を図るとともに、団地別・住棟別の活用方針を定め、建物の長寿命化を推進することにより更新コストやライフサイクルコストの縮減に取り組みます。

《計画の方針》

- ①人口減少や高齢社会を踏まえて、需要と供給バランスの試算を行い適正な公営住宅の管理戸数を設定します。
- ②建替・改善・維持管理等にかかるコスト試算を行い、将来にわたり持続可能な公営住宅等の適正な事業量を設定します。
- ③従来型の直接建設方式による建て替えだけでなく、民間賃貸住宅の借上げやPFI事業等も含め、事業手法のあり方について検討します。
- ④社会問題となっている空き家の利活用及び民間賃貸住宅の家賃補助等を視野に、公営住宅を補完する新たな手法について検討します。

### ②総合評価

施設番号	施設名称	施設主管課	所在地	総合評価	
				建物の評価	機能の評価
1	都甲路団地	建築住宅課	佐土原町下田島5036ほか	処分(廃止)	廃止
2	旧高岡町有住宅 雁ヶ峰	建築住宅課	高岡町内山2779-2	処分(廃止)	廃止
3	旧高岡町有住宅 旧国交	建築住宅課	高岡町内山2895-6	処分(廃止)	廃止
4	旧高岡町有住宅 山下	建築住宅課	高岡町内山3269-2	処分(廃止)	廃止
5	旧高岡町有住宅 国際交流	建築住宅課	高岡町内山3109-4	処分(廃止)	廃止
6	新町団地	建築住宅課	佐土原町上田島1383-1ほか	改修・更新	継続
7	追手団地	建築住宅課	佐土原町上田島1400-1ほか	改修・更新	継続
8	平和が丘団地	建築住宅課	平和が丘西町32-1ほか	改修・更新	継続
9	国富が丘団地	建築住宅課	本郷南方4563-1ほか	改修・更新	継続
10	祇園団地	建築住宅課	高岡町下倉永1200-1ほか	改修・更新	継続
11	池内団地	建築住宅課	池内町912-1ほか	継続	継続
12	鳥居原団地	建築住宅課	阿波岐原町2117-6ほか	継続	継続
13	自由ヶ丘団地	建築住宅課	山崎町1030-1ほか	継続	継続
14	飛江田団地	建築住宅課	赤江467-13ほか	継続	継続
15	老松団地	建築住宅課	老松二丁目39ほか	継続	継続

施設 番号	施設名称	施設主管課	所在地	総合評価	
				建物の評価	機能の評価
16	上井倉団地	建築住宅課	田野町甲1721-6	継続	継続
17	木材町団地	建築住宅課	田野町甲2695-5	継続	継続
18	二ツ山団地	建築住宅課	田野町甲5545-1ほか	継続	継続
19	光団地	建築住宅課	田野町乙9521ほか	継続	継続
20	南原団地	建築住宅課	田野町南原二丁目2-7	継続	継続
21	一の宮団地	建築住宅課	一の宮町30-1ほか	継続	継続
22	大淀団地	建築住宅課	大淀一丁目166ほか	継続	継続
23	鶴島団地	建築住宅課	鶴島三丁目91-1ほか	継続	継続
24	小戸団地	建築住宅課	鶴島三丁目125-2ほか	継続	継続
25	権現団地	建築住宅課	江平東一丁目1	継続	継続
26	大塚台団地	建築住宅課	大塚台西三丁目1-1ほか	継続	継続
27	北原団地	建築住宅課	恒久二丁目12-1	継続	継続
28	希望ヶ丘団地	建築住宅課	希望ヶ丘一丁目230-8ほか	継続	継続
29	立和原団地	建築住宅課	本郷南方2919-1ほか	継続	継続
30	大島北団地	建築住宅課	大島町632-1ほか	継続	継続
31	南窪団地	建築住宅課	大島町851ほか	継続	継続
32	北ノ原団地	建築住宅課	大島町1011ほか	継続	継続
33	大島団地	建築住宅課	大島町1021-14ほか	継続	継続
34	大島西団地	建築住宅課	大島町1046-イほか	継続	継続
35	大坪団地	建築住宅課	大坪西一丁目2359-1ほか	継続	継続
36	生目台団地	建築住宅課	生目台東四丁目4-1ほか	継続	継続
37	学園木花台団地	建築住宅課	学園木花台北三丁目2ほか	継続	継続
38	中央団地	建築住宅課	清武町船引317-1ほか	継続	継続
39	新川団地	建築住宅課	清武町船引678-1ほか	継続	継続
40	岡団地	建築住宅課	清武町岡二丁目2-1	継続	継続
41	沓掛団地	建築住宅課	清武町今泉甲3619	継続	継続
42	清武新町団地	建築住宅課	清武町木原118-1ほか	継続	継続
43	黒坂団地	建築住宅課	清武町木原6357-2ほか	継続	継続
44	桑畑団地	建築住宅課	清武町西新町5-3	継続	継続
45	光ヶ丘団地	建築住宅課	佐土原町下田島20510-89ほか	継続	継続
46	広瀬台団地	建築住宅課	佐土原町下田島20510-25ほか	継続	継続
47	久峰団地	建築住宅課	佐土原町下田島21400-3ほか	継続	継続
48	小牧台団地	建築住宅課	佐土原町下那珂4707-11ほか	継続	継続
49	下村団地	建築住宅課	佐土原町東上那珂15779-11ほか	継続	継続

施設 番号	施設名称	施設主管課	所在地	総合評価	
				建物の評価	機能の評価
50	内山団地	建築住宅課	高岡町内山310-1ほか	継続	継続
51	山村定住住宅	建築住宅課	高岡町内山3262-7ほか	継続	継続
52	丸山団地	建築住宅課	高岡町飯田二丁目14-1ほか	継続	継続
53	浦之名団地	建築住宅課	高岡町浦之名584-1ほか	継続	継続
54	八久保団地	建築住宅課	高岡町小山田148-2	継続	継続
55	丸山北団地	建築住宅課	高岡町飯田三丁目30-2ほか	継続	継続

## あり方を検討の施設

※施設の詳細な情報は291～410ページの施設カルテを参照してください。

### 【「あり方を検討」の施設とは】

平成29年度または平成30年度施設評価において総合評価が「あり方を検討」とされた施設です。令和2年度は、「令和2年度までにあり方を検討」との評価になっていた児童プール、自然休養村センター、道の駅フェニックス、高岡トレーニングセンター、練士館（練士館道場）、東高岡体育館、さどわら民俗芸能館、大淀川学習館、宮崎科学技術館、中央公民館の24施設を評価しました。それぞれの施設について、これまでの経営状況を分析し、検討を進めてきたところですが、一定の方向性が見出せた施設がある一方で、様々な観点からさらに検討を重ねる必要があると判断し、引き続きあり方を検討することになった施設もあります。

なお、今後の経営の方向性については、各年度の施設評価で決定していますので、今回は総合評価のみを策定しています。

### 【「総合評価」】

「児童プール15施設」は、ほとんどが築30年以上と老朽化が進んでいることや利用者数も年々減少していることから、廃止も含めて施設の見直しを検討してきました。

年少人口の減少率や地域自治体単位における配置状況を踏まえ、「丸山児童プール・飛江田児童プール・富吉児童プール」の3施設を廃止とします。

残りの12施設については、小学校プールの活用や保育園への譲渡などを検討するため、引き続き施設のあり方を検討することとします。

「宮崎市自然休養村センター」は、施設の老朽化が進んでいるため大規模改修や建て替えなどを検討する時期に来ていることから、今後の施設のあり方に関する方向性を検討する際の参考として「サウンディング型市場調査（事前可能性調査）」を行いました。

調査結果でPFI事業等の民間資金活用の可能性については、ターゲット（利用者層）の見直しも必要があるといった意見もありました。

今後さらに調査・検討を行い、市が公共サービスとして施設を保有し続ける必要があるかも含め、引き続き施設のあり方を検討を行うこととします。

「宮崎市道の駅フェニックス」は、施設が築55年経過し、老朽化が進んでいるため、大規模改修や建て替えなどを検討する時期に来ています。道の駅フェニックスはPFI事業等の民間資金活用の可能性が高い施設であると考えられることから、県内道の駅視察や類似施設の調査等、指定管理者との十分な協議を踏まえ、今後の施設運営の方向性をさらに検討を行うために引き続き施設のあり方を検討することとします。

「宮崎市高岡トレーニングセンター」、「練士館（練士館道場）」、「宮崎市東高岡体育館」は、地域住民の健康の増進を目的とした拠点施設として、当分の間、「継続」とします。しかしながら、大規模改修が必要になった場合には廃止や統廃合を含めて検討することとします。



「宮崎市さどわら民俗芸能館」は、国指定重要文化財の「巨田神社」に古くから伝わる「巨田神楽」の保存・伝承を目的に整備され、主に地元保存団体を中心に神楽の練習場として利用していることから地元等への譲渡を含めて施設の見直しを検討してきました。今後は、市指定無形民俗文化財である「巨田神楽」を伝承していくことに加え、巨田地区に伝わるその他の民俗文化（県指定無形民俗文化財「鴨網獵」を含む）を広く伝承する施設として施設の有効活用を図ることとし、当分の間、「継続」とします。

「宮崎科学技術館・大淀川学習館」については、2施設を合わせた年間利用者数が30万人を超える施設ではありますが、建物の老朽化や展示物の損耗及び劣化等が進んでおり、将来も現在のサービスの水準を維持していくためには、「全面的なリニューアル」など多額の費用が必要なことから、機能の再編など、様々な観点から方策を検討してきました。しかしながら、施設の機能・規模・立地など、さらに検討を行う必要があるために引き続き施設のあり方を検討することとします。

「中央公民館」は、建物及び機能の評価はともに「継続」とします。しかしながら、社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・減災対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築する必要があることから、貸し館の必要性などを含め、規模の見直しについて検討を行なうこととします。

## 総合評価

施設番号	施設名称	施設主管課	所在地	総合評価	
				建物の評価	機能の評価
1	宮崎市丸山児童プール	子育て支援課	丸山二丁目162	処分(廃止、売却・譲渡、貸付)	廃止
2	宮崎市飛江田児童プール	子育て支援課	赤江字飛江田998	処分(廃止、売却・譲渡、貸付)	廃止
3	宮崎市富吉児童プール	子育て支援課	富吉字迫内2258-2	処分(廃止、売却・譲渡、貸付)	廃止
4	宮崎市自然休養村センター	森林水産課	加江田6896	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。
5	宮崎市道の駅フェニックス	観光戦略課	内海381-1	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。
6	大淀川学習館	生涯学習課	下北方町5348-1	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。
7	宮崎科学技術館	生涯学習課	宮崎駅東一丁目2-2	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和3年度までに施設のあり方を検討する。
8	宮崎市億児童プール	子育て支援課	吉村町江田原甲266-2	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
9	宮崎市恒久児童プール	子育て支援課	恒久三丁目3	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
10	宮崎市上水流児童プール	子育て支援課	大工二丁目83	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
11	宮崎市霧島児童プール	子育て支援課	船塚一丁目81	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
12	宮崎市御幸児童プール	子育て支援課	淀川三丁目43	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
13	宮崎市平和が丘児童プール	子育て支援課	平和が丘西町20-6	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
14	宮崎市跡江児童プール	子育て支援課	跡江字土手下212	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
15	宮崎市田代児童プール	子育て支援課	田代町18-1	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
16	宮崎市希望ヶ丘児童プール	子育て支援課	希望ヶ丘三丁目4	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
17	宮崎市広原児童プール	子育て支援課	広原字堀田1066	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
18	宮崎市大塚台児童プール	子育て支援課	大塚台西二丁目4-10	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
19	宮崎市木花児童プール	子育て支援課	熊野字正蓮寺634	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。	継続。ただし、令和4年度までに施設のあり方を検討する。
20	宮崎市高岡トレーニングセンター	スポーツランド推進課	高岡町内山2899	継続	継続
21	練士館(練士館道場)	スポーツランド推進課	高岡町内山2902	継続	継続
22	宮崎市東高岡体育館	スポーツランド推進課	高岡町花見923	継続	継続
23	宮崎市さどわら民俗芸能館	佐土原・地域市民福祉課	佐土原町上田島10744-2	継続	継続
24	宮崎市中央公民館	生涯学習課	宮崎駅東一丁目2-7	継続	継続

## 7 パブリックコメントの実施結果

「令和2年度 施設評価（案）」でとりまとめた、施設ごとの「総合評価」、利用用途別分類ごとの「今後の経営の方向性」に対しましては、ご意見がありませんでしたので、原案を修正せず、決定しました。

### 【実施結果の概要】

#### ●募集期間

令和3年2月22日から令和3年3月23日まで

#### ●対象の案の範囲および回答数(意見数)

区分	総合評価	今後の経営の方向性
対象の範囲	全部	全部
回答数	0件	0件

## 8 施設利用者のアンケートの実施結果

「令和2年度 施設評価（案）」でとりまとめた、施設ごとの「総合評価」に対してご意見をお寄せいただきありがとうございました。いただきましたご意見について検討した結果、原案を修正せず、いただいたご意見は、今後の施設経営をはじめ、「あり方を検討」の参考にさせていただきます。

市民の皆さんからのご意見の要旨とこれらに対する市の考え方を21～25ページのとおりお示しします。

※施設利用者のアンケートは、宮崎市パブリックコメント制度実施要綱第8条に基づき、趣旨が不明なものや賛否のみなどの意見は「不明」として取り扱っています。

### 【実施結果の概要】

#### ●募集期間

令和3年2月22日から令和3年3月23日まで

#### ●対象の案の範囲および回答数（意見数）

区分	総合評価	今後の経営の方向性
対象の範囲	宮崎市青島パークゴルフ場、宮崎市自然休養村センター、宮崎市道の駅フェニックス、大淀川学習館、宮崎科学技術館	
回答数 （意見数）	18件 （60件 うち不明42件）	

#### ●施設利用者アンケートの結果および市の考え方

21～25ページ参照

# ①「総合評価」に対するご意見と市の考え方

施設名称	宮崎市自然休養村センター	利用用途別分類	保養観光施設
		利用圏域別分類	広域・市域
所在地	加江田 6896	施設主管課	森林水産課
総合評価			
建物の評価	継続。ただし令和3年度までに施設のあり方を検討		
機能の評価	継続。ただし令和3年度までに施設のあり方を検討		
総合評価に対するご意見と市の考え方			
意見数(人数)	57件(10人)	意見数のうち不明	42件
No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方	
1	<p>評価の在り方について、市所有の全ての施設を同じ評価基準で評価できるのか。</p> <p>施設評価で、「他と比較して」との表現があるが、具体的にどこと比較しているのか、同類でない施設と比較しても状況は把握できないと思う。</p> <p>施設の評価と同時に指定管理者の取り組みについての評価として利用者数、収支、利用者の満足度、施設維持管理費など、指定管理前後の変化について、市民に公表すべきである。</p>	<p>自然休養村センターは観光やレクリエーションに関するサービスを提供する施設の「保養観光施設」として位置付けており、その他温泉施設等と同じ分類として整理しております。施設評価では、品質(劣化状況等)、供給(利用状況等)、財務(収支等)の3つの定量的な要素を評価分類ごとに基礎評価を行い、その結果に近隣施設・類似施設の有無や民間との競合、防災対策、人口動向など定性的な要素を分析した結果を勘案し、施設の総合評価を作成しております。</p> <p>なお、指定管理者制度については、別途「宮崎市指定管理者制度に係るモニタリング指針」に基づき毎年評価を実施しております。</p>	
2	<p>財政事情により、存続が困難となった場合、主な利用者である高齢者の憩いの場を奪うことになる。</p> <p>行政財産については行政が管理運営する以前に「市民財産」であることを再定義することが必要である。</p> <p>施設の設置主旨を継続し、予算を投じていくのであれば、自然を生かした魅力の発信や地域の農産物・海産物の加工販売など、複合的に取り組むべきである。</p>	<p>「宮崎市自然休養村センター」は年間10万人以上の市民に利用され、地域の活動拠点の施設であると認識しております。当施設については、築40年以上が経過し、老朽化が進んでいることから施設のあり方を検討する必要があります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、施設のあり方について検討する中で今後の参考にさせていただきます。</p>	
3	<p>好隣梅のウォーキングなどを企画して子供の参加をうながすことで温泉利用も増えるのではないかと。</p> <p>また、植物の植え替え教室も企画してもらえたら地元の産物も知ってもらえるのではないかと。</p>		
4	<p>本館2階建屋が築40年経過で安全上問題があれば改修し平屋の宮崎産木材を活用したシンプルな建物に転換してどうか。</p>		

No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
5	<p>建物が老朽化し、お風呂が大分古くなっている。洗い場の水はけ、サウナ室、更衣室の洗面台等改善の余地がある。</p> <p>お湯は最高ですが施設が良くない。</p> <p>宮崎市に天然温泉とアピールすれば市の観光資源にもなる。一般人はもちろん御老人から子供まで利用客が訪れると思う。</p>	
6	<p>老朽化とはいえ、しっかりとした材料を使っているため大丈夫だと思う。</p> <p>新しく建て直す前に再検討の必要があると思う。</p>	
7	<p>約３年前にも同じようなアンケート調査があったと思います。その結果は何も伝わっていない。これは何を目的とした調査なのか。</p> <p>これから将来に向かって勇気を持った実効性のある方法を自然休養村の従業員、管理人、住民、自然休養村愛好者などの意見交換の場を開催し市の本気度を示してほしい。</p> <p>表面的な調査で終わらせないでほしい。</p> <p>この前の調査のときにも提案したが、この施設を充実した多面的な総合的福祉施設とするという意見は検討したのか。戸敷市長の考えるアリーナ建設よりも宮崎の将来に重要なポイントであると確信している。</p> <p>この施設の従業員、管理人、地域住民、施設愛好者とともに市の職員も真剣に防災、地域活性、地域創世に向けて一つのプロジェクトを立ち上げ、その目標に向けて、この宮崎のお宝(温泉、椿山、加江田溪谷、好隣梅など)を活かしてほしい。</p> <p>どうかもっと開かれた討論の場を開催して市の本気度を示してほしい。</p>	
8	バス停の屋根を取り付けてほしい。	
9	水風呂の検討をお願いします。場所的にも設置が可能と考え、より充実した施設になるよう実現してほしい。	
10	歩行風呂について反時計回りに歩く人がほとんどであるが、中には片方を往復する人がいる。意見するにも歩き方までは案内されていないため、壁に歩く方向を示す矢印をつけてほしい。	

No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
11	近年青島温泉のイメージがようやく県外観光客にも知られるようになったが、そのような流れの中で当施設は限られた予算、スタッフを十分に活用して大いに健闘している。	
12	利用料金の配慮もあり、特に宮崎市内の高齢者には人気があり、毎日利用する人も多く見られるなど、いまや老若男女を問わず、無くてはならない保護施設として活用されている。	
13	令和２年度はコロナ禍により利用者が大幅に減少したにもかかわらず、愛称を募集し、「天然温泉かけ流し・このはなの湯」として記者発表するなど、マスコミの関心も高まり、当施設の素晴らしさについて認知度が大いに高まった。	
14	宮崎大学とも連携して地域資源の活用等にも取り組んでおり、農作物即売会等、地域との連携活動にも活発に取り組んでいる。	
15	支配人の下、職員が一丸となって施設の振興に取り組んでいる姿は評価に値する。今後更なる発展を期待したい。	

施設名称	大淀川学習館	利用用途別分類	図書館・展示施設
		利用圏域別分類	広域・市域
所在地	下北方町 5348-1	施設主管課	生涯学習課
総合評価			
建物の評価	継続。ただし令和3年度までに施設のあり方を検討		
機能の評価	継続。ただし令和3年度までに施設のあり方を検討		
総合評価に対するご意見と市の考え方			
意見数(人数)	1件(1人)	意見数のうち不明	0件
No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方	
1	スタッフの方々の丁寧な対応が気持ち良く、良い施設だと思った。	今後も来館者の方が「また行きたい」と思っただけのような施設づくりに努めていきたいと考えております。  いただいたご意見は施設のあり方について検討する中で今後の参考にさせていただきます。	

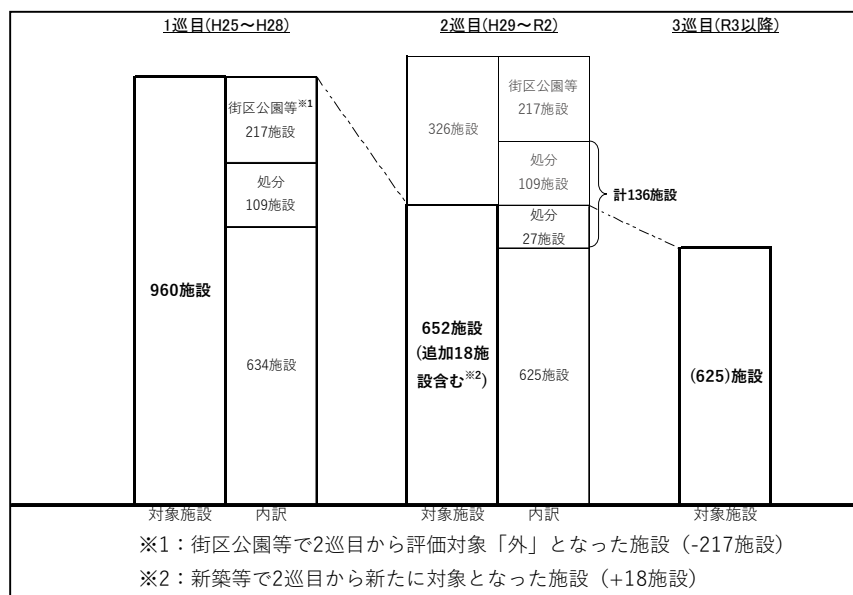


施設名称	宮崎科学技術館	利用用途別分類	図書館・展示施設
		利用圏域別分類	広域・市域
所在地	宮崎駅東一丁目 2-2	施設主管課	生涯学習課
総合評価			
建物の評価	継続。ただし令和3年度までに施設のあり方を検討		
機能の評価	継続。ただし令和3年度までに施設のあり方を検討		
総合評価に対するご意見と市の考え方			
意見数(人数)	2件(2人)	意見数のうち不明	0件
No.	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方	
1	<p>初めて来館したが、とてもきれいで色々な設備があり、職員の対応もとても良かった。</p> <p>コンサートイベントが開催されていたが、とても感動した。</p> <p>時間があっという間に過ぎた。また来館したい。</p>	<p>今後も来館者の方が「また行きたい」と思っただけのような施設づくりに努めていきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見は施設のあり方について検討する中で今後の参考にさせていただきます。</p>	
2	<p>子どもの時に遠足で来て以来、久しぶりに来た。</p> <p>色々変わっていてびっくりした。</p> <p>コンサートイベントが開催されていたが、映像とともに歌声がすばらしく、とても感動した。</p> <p>今度はVRを体験したい。</p>		

## 9 令和3年度以降（3巡目）の施設評価の考え方について

### （1）背景・目的

平成25年度から行ってきた施設評価は、利用用途別分類（利用状況の実態）と利用圏域別分類（対象利用者の居住範囲）を組み合わせた分類単位での評価を行っており、建物の評価が「処分」と評価された施設数は、1巡目（H25～28）は960施設のうち109施設、2巡目（H29～R2）は652施設のうち27施設となっており、合計で136施設を処分と評価しました。（各巡目の対象施設と内訳は以下のとおり。）



これまで「総量の最適化」「質の向上」「投資の厳選」といった3つの経営方針に基づき施設評価を実施してきましたが、それぞれの施設において、所期の設置目的やその背景があり、施設所管課（施設単体）だけでは、「最適な量」への方向性（廃止や集約・統合等）を示すことが困難である場合も見られました。

また、令和2年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染拡大防止対策や経済対策など緊急を要する多額の費用が必要な中において、休館措置を行った利用料金制度導入施設に対し指定管理料の補てんを行いました。公の施設が提供するサービスが真に必要なサービスであるかどうかについて、改めて議論し見直すことが必要であることにも気づかされました。

そのため、将来にわたって、真に必要な公共サービスを提供するためには、「総量の最適化」「投資の厳選」をさらに推進していく必要があります。

### （2）対象・手段

#### ①エリアマネジメント（中学校区内）の視点に基づく評価

「総量の最適化」「投資の厳選」を重点的に評価を実施するため、令和3年度以降の施設評価では施設間での機能の統合・集約の可能性を検討します。

また、公共施設のなかでも、中学校及び「1中学校区に1館」の方針で設置した公立公民館等は、地域コミュニティの中核を担う重要な役割を有すると考えており、優先して継続する必要がある施設であることから、中学校及び公立公民館等を中心としたエリアマネジメントの視点で、今後の方向性について施設評価を実施します。

# ●施設評価の対象エリア

市内の中学校区ごとにそれぞれの校区内にある施設の機能の統合・集約等について検討し、評価します。なお、評価の実施については、市内全ての中学校区（25校）を毎年度6～7校程度抽出し行うこととします。

## ②利用料金制度導入施設のあり方検討

利用料金制度を導入している17施設について、公共サービスとしての必要性を議論し、施設のあり方を検討することとします。

【対象施設】（公共性が高い施設や利用料金収入が少ない施設等は対象外とします）

施設名	施設所管課	施設名	施設所管課
みやざきアートセンター	文化・市民活動課	宮崎市フェニックス自然動物園	公園緑地課
宮崎市清武文化会館		フローランテ宮崎	
宮崎市自然休養村センター	森林水産課	宮崎市橋通東3丁目駐車場（Y・Y PARK）	
宮崎市道の駅フェニックス	観光戦略課	宮崎市城の駅	佐土原地域市民福祉課
宮崎白浜オートキャンプ場		宮崎市高岡温泉やすらぎの郷	高岡地域市民福祉課
宮崎市青島パークゴルフ場	スポーツランド推進課	宮崎市道の駅高岡	高岡農林建設課
宮崎市石崎の杜鯨鯨館		宮崎市田野物産センター	田野農林建設課
宮崎科学技術館	生涯学習課	宮崎市道の駅田野総合案内施設	
		宮崎市交流プラザきよたけ（四季の夢）	清武地域市民福祉課

## 1 施設評価の定義

### (1) 評価対象の施設

本市の公共施設のうち、道路や上下水道などのインフラ及びその関連施設を除いた、庁舎や公の施設などのいわゆる「ハコモノ」の施設を「評価対象」とします。

### (2) 評価単位

基本的には、同一敷地内にある一つの建物を「評価単位」とします。

ただし、小中学校のように、同一敷地内に利用用途が同一の複数の建物（棟）がある場合は、それらの集合体を「評価単位」とします。また、佐土原総合文化センターのように、一つの建物（棟）の中に、図書館と貸館など利用用途が異なる建物がある場合は、分割してそれぞれを「評価単位」とします。

### (3) 施設評価

老朽化した施設や類似施設（用途や機能が同じ施設）、余剰施設（利用が少なく、余る施設）など、不要な施設や見直す施設を明確に把握し、「総量の最適化」及び「質の向上」を実現するための取り組みを「施設評価」とします。

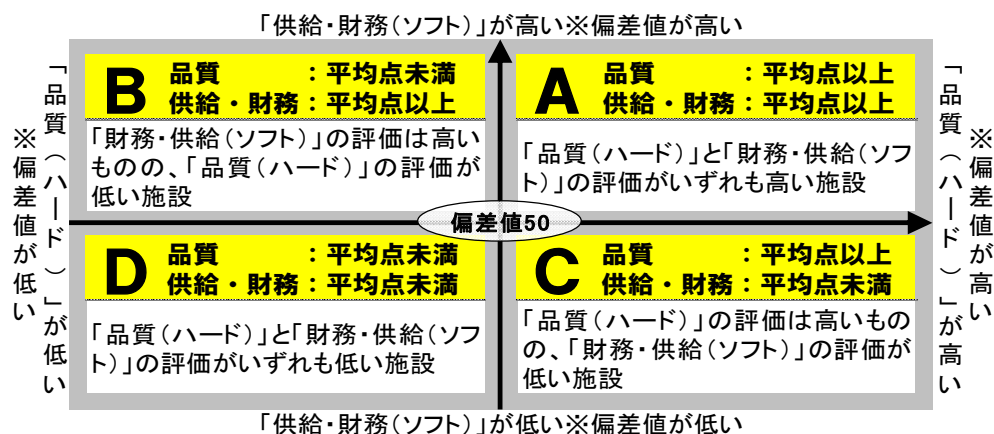
評価は、はじめに、品質（劣化状況、安全性）・供給（サービスの適切さ）・財務（収益、収支）の3つの定量的な要素で点検した分類評価（基礎評価）を実施します。次に、基礎評価に近隣施設・類似施設の有無や防災対策、人口動向などの定性的な要素を分析した結果を勘案し、建物と機能をそれぞれ評価します（総合評価）。最後に、「総合評価」に対する市民の皆さんの意見を踏まえ、最終的な評価を決定します。

### (4) 基礎評価

品質・供給・財務に関する定量的な要素を評価した上で、ハード（品質）とソフト（供給・財務）の両面に着目して評価することを「基礎評価」とします。

「基礎評価」では、品質・供給・財務の状況の評価の基準（目安）として設定した評価指標に基づき偏差値化し、評価結果としてA～Dの区分に分類します。それぞれの区分は、下図のとおりとなります。

■基礎評価の分類区分の図



## (5) 総合評価

近隣施設・類似施設の有無（県・民間含む）、民間との競合、防災対策の有無、交通事情、人口動向などの定性的な要素を基礎評価に勘案し、「総量の最適化」（建物）と「質の向上」（機能）をそれぞれ評価することを「総合評価」とします。

評価は、基本的に、①「総量の最適化」の視点による「建物の評価」と②「質の向上」の視点による「機能の評価」を組み合わせたものとします（下表参照）。

また、①が「処分」以外と②が「廃止」以外の場合、それぞれの課題（①は修繕更新費用の削減、②は市負担額（ソフト）の削減）の解決策を作成し、評価後の経営につなげます。

なお、評価によっては、統合と集約を組み合わせるほか、機能を統合や集約する施設を決める検討期間が必要な場合、評価後の再配置計画において具体的な内容を決定する評価となる場合があります。

### ■評価と評価の意味

区分	評価	評価の意味
①建物の評価 （「総量の最適化」の視点）	継続	3～5年程度、現状どおり
	改修・更新	5年以内に、大規模改修または建て替えに着手
	処分（廃止、売却・譲渡、貸付）	5年以内に、廃止または民間等への売却・譲渡・貸付
②機能の評価 （「質の向上」の視点）	継続	3～5年程度、現状どおり
	改善	5年以内に、供給（利用者数や稼働率、サービス内容など）・財務（管理経費や市負担額の削減など）を改善
	統合	5年以内に、他の施設と機能を統合（同じ機能（利用用途別分類）を一つにまとめること）
	集約	5年以内に、他の施設と機能を集約（異なる機能（利用用途別分類）を一つにまとめること）
	変更	5年以内に、機能を変更
	移転	5年以内に、別の施設に機能を移転
	廃止	5年以内に、廃止

※「評価の意味」における年限については原則とするが、個別施設計画を策定した施設については個別施設計画の年限に合わせる。また、社会情勢の変化等により、やむを得ない場合は柔軟に対応する。

## (6) 利用用途別分類・利用圏域別分類

「利用用途別分類」とは、利用状況の実態で分類すること、また、「利用圏域別分類」は、利用者層（「広域・市域」、「地域」、「地区」といった対象利用者の居住範囲）で分類することです（31ページ参照）。

## (7) 今後の経営の方向性

施設の利用用途別分類ごとに将来にわたって適正な施設経営に取り組む指針となります。評価が終わった施設は、それぞれの「今後の経営の方向性」に基づき、適正な施設経営に取り組むことになります。

## (8) 評価指標

品質・供給・財務の状況进行评估するため、3つの視点（市民のニーズ、フロー、ストック）に基づき、評価の基準（目安）として具体的に設定したものを「評価指標」とします（32ページ参照）。

## (9) 施設グループ単位で施設評価を実施

利用用途別分類と利用圏域別分類を組み合わせた分類単位で施設評価を実施します。（下図参照）

### ■利用用途別分類と利用圏域別分類の関連イメージ

		庁舎等施設	集会施設	図書館・展示施設	スポーツ施設	保養観光施設	...	医療保健福祉施設
広域・市域施設	市域全体	本庁舎 第二・三・四庁舎	文化ホール	図書館 歴史資料館	運動公園 総合体育館	道の駅 キャンプ場		小児診療所 夜間急病センター
地域施設	地域自治区 中学校区	総合支所 地域センター	公民館 地区交流センター		地域の体育館			福祉センター
地区施設	自治会 自治公民館		共同利用施設 学習等研修施設					

この分類単位で  
施設評価を実施します

## (10) その他

年数が経過すると施設の経営状況や取り巻く環境が変化しますので、評価後も引き続き保有する施設は、あらためて施設評価を実施していきます。

利用用途別分類・利用圏域別分類一覧表

利用用途別分類		利用圏域別分類			
		広域・市域 （主に市全域・市外を対象）	地域 （主に地域自治区を対象）	地区 （主に自治会・自治公民館を対象）	
評価分類		市全域の市民、さらには、市外に居住する住民が対象利用者となる施設	地域自治区や合併特例区などの比較的広い範囲の地域に居住する市民が対象利用者となる施設	施設の近隣（自治会、自治公民館の会員など）に居住する市民が対象利用者となる施設	
1	庁舎等施設	10	庁舎等施設	市役所庁舎、総合支所、地域センターなど、市の職員が事務を執り行うとともに、市民にサービスを提供する施設	
2	集会施設	20	集会施設	市民活動、レクリエーション、文化・生涯学習活動などを支援する施設	
3	図書館・展示施設	30	図書館・展示施設	芸術、歴史、文学、科学などの物品や書物を展示・公開するほか、参加型の学習・体験の機会を提供する施設	
4	スポーツ施設	41	体育館・スポーツセンター・武道場等	市民の多種多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援する施設のうち、体育館をはじめとする屋内運動施設	
		42	プール		市民の多種多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援する施設のうち、プール施設
		43	運動公園（建物が主たる施設）	市民の多種多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援する施設のうち、建物が主たる施設	
		44	運動広場・テニスコート等（土地が主たる施設）		
				市民の多種多様なスポーツ・レクリエーション活動を支援する施設のうち、運動広場やテニスコートなどの建物が主ではない屋外運動施設	
5	医療保健福祉施設	50	医療保健福祉施設	社会福祉、障害福祉、介護、医療などのサービスを提供するための施設	
6	保養観光施設	61	保養観光施設A（建物が主たる施設）	道の駅やキャンプ場、温泉施設など、観光やレクリエーションに関するサービスを提供する施設のうち、建物が主なる施設	
		62	保養観光施設B（土地が主たる施設）	道の駅やキャンプ場、温泉施設など、観光やレクリエーションに関するサービスを提供する施設のうち、建物が主ではない施設	
7	産業振興施設	70	産業振興施設	農業、工業などの産業振興のための活動を支援する施設	
8	市営住宅等施設	80	市営住宅等施設		市が供給する住宅施設
9	消防施設	91	消防庁舎	消防本部、消防署に関する施設	
		92	消防団・分団施設（倉庫・車庫）		消防団・消防分団に関する施設
10	学校教育児童福祉施設	101	保育所		小中学校のほか、児童の健全育成、仕事と子育ての両立支援などのサービスを提供する施設
		102	児童館・児童センター・児童プール		
		103	児童クラブ		
		104	幼稚園		
		105	小中学校		
		106	給食センター・給食室		
		107	その他教育施設	児童生徒の相談や教員の研修などのサービスを提供する施設	
11	公園施設	111	公園施設A（有料、建物あり）	都市公園やふれあい公園など、市民の憩いの場として提供している施設のうち、有料かつ建物がある施設	
		112	公園施設B（有料、建物なし）	都市公園やふれあい公園など、市民の憩いの場として提供している施設のうち、有料かつ建物がない施設	
		113	公園施設C（無料、建物あり）	都市公園やふれあい公園など、市民の憩いの場として提供している施設のうち、無料かつ建物がある施設	
		114	公園施設D（無料、建物なし）	都市公園やふれあい公園など、市民の憩いの場として提供している施設のうち、無料かつ建物がない施設	
12	閉校・廃止等施設	120	閉校・廃止等施設	閉校・廃止となっている施設	
13	書庫・倉庫	130	書庫・倉庫	書庫・倉庫として使用している施設	
14	その他施設	141	駐車場・駐輪場	駐車場	駐輪場
		142	その他施設	葬祭センター、普通財産となっている施設など、上記のいずれにも属さない施設	
15	プラント系・仮設施設	150	プラント系・仮設施設	プラント系および仮設の施設	

評価指標一覧表

評価軸		ハード					ソフト														
		品質					供給					市民ニーズの視点			財務						
評価の視点		ストックの視点					市民の利用(ニーズ)があるか、面積や市負担額に対する利用量(利用者数、駐車台数など)を分析する。										施設が効率的に経営されているか、面積や利用量に対する市負担額を分析する。				
		施設が有効に活用されているか、建物の状態を分析する。																			
評価指標		築年数(棟平均)	劣化度数(棟平均)	耐震対応(棟平均)	クレーム点数	バリアフリー点数(棟平均)	(利用量)	利用量率	コマ利用率	定員充足率(稼働率)	建物1㎡当たりの利用量率	土地1㎡当たりの利用量率	市負担額千円当たりの利用量	市負担割合	市負担額(ソフト)前年度比	建物1㎡当たりの市負担額	土地1㎡当たりの市負担額	利用量当たりの市負担額			
		施設に含まれる建物(棟)の築年数の平均	建物(棟)別の劣化度(劣化状況の×の個数)	耐震化の建物(棟)の対応状況	クレームの頻度	建物(棟)別のバリアフリーの対応状況(バリアフリーの×の個数)	(利用者数など)	1日当たりの利用者数など	貸出可能コマ数の利用割合	定員に対する充足割合	利用量率÷総延べ床面積	利用量率÷土地面積	利用量÷市負担額	市負担額÷支出合計×100	評価対象年度市負担額÷評価対象前年度市負担額	市負担額÷総延べ床面積	市負担額÷土地面積	市負担額÷利用量			
利用用途別分類		評価分類																			
1	庁舎等施設	10	庁舎等施設	○	○	○	○	○	(一)	—	—	—	—	—	○	○	○	—			
2	集会施設	20	集会施設	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	年間延べ利用コマ数÷年間延べ貸出可能コマ数×100	—	○	—	○	○	—	○			
3	図書館・展示施設	30	図書館・展示施設	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	—	—	○	—	○	○	—	○			
	スポーツ施設	41	体育館・スポーツセンター・武道場等	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	年間延べ利用コマ数÷年間延べ貸出可能コマ数×100	—	○	—	○	○	—	○			
		42	プール	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	—	—	○	—	○	○	—	○			
		43	運動公園(建物が主たる施設)	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	年間延べ利用コマ数÷年間延べ貸出可能コマ数×100	—	○	—	○	○	—	○			
		44	運動広場・テニスコート等(土地が主たる施設)	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	年間延べ利用コマ数÷年間延べ貸出可能コマ数×100	—	—	○	○	○	—	○			
5	医療保健福祉施設	50	医療保健福祉施設	○	○	○	○	○	(一)	—	—	—	—	—	○	○	—	—			
6	保養観光施設	61	保養観光施設A(建物が主たる施設)	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	—	—	○	—	○	○	—	○			
		62	保養観光施設B(土地が主たる施設)	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	—	—	○	○	○	—	○	○			
7	産業振興施設	70	産業振興施設	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	—	—	○	○	○	○	—	○			
8	市営住宅等施設	80	市営住宅等施設	○	○	○	○	○	(年間延べ入居戸数÷年間延べ入居可能月数)	年間延べ入居戸数÷年間延べ入居可能月数	—	—	年間延べ入居戸数÷年間延べ設置戸数×100	—	—	○	○	—	○		
9	消防施設	91	消防庁舎	○	○	○	○	○	(一)	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—		
		92	消防団・分団施設(倉庫・車庫)	○	○	○	○	—	(一)	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—		
10	学校教育児童福祉施設	101	保育所	○	○	○	○	○	(年間延べ入所児童数÷年間延べ開設月数)	年間延べ入所児童数÷年間延べ開設月数	—	—	年間延べ入所児童数÷年間延べ定員数×100	—	—	○	○	—	○		
		102	児童館・児童センター・児童プール	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	—	—	—	—	○	○	○	—	○		
		103	児童クラブ	○	○	○	○	○	(年間延べ入会児童数÷年間延べ開設月数)	年間延べ入会児童数÷年間延べ開設月数	—	—	年間延べ入会児童数÷年間延べ定員数×100	—	—	○	○	—	○		
		104	幼稚園	○	○	○	○	○	(年間延べ入園児数÷年間延べ開設月数)	年間延べ入園児数÷年間延べ開設月数	—	—	年間延べ入園児数÷年間延べ定員数×100	—	—	○	○	—	○		
		105	小中学校	○	○	○	○	○	(児童数・生徒数(5月1日現在))	児童数・生徒数(5月1日現在)	—	—	—	—	○	○	○	—	○		
		106	給食センター・給食室	○	○	○	○	—	(食数(5月1日現在))	(食数(5月1日現在))	—	—	—	○	—	○	○	—	○		
		107	その他教育施設	○	○	○	○	○	(一)	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—	
11	公園施設	111	公園施設A(有料、建物あり)	○	○	○	○	○	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	年間延べ利用コマ数÷年間延べ貸出可能コマ数×100	—	—	○	○	○	—	○	○		
		112	公園施設B(有料、建物なし)	—	—	—	○	—	(年間延べ利用者数)	年間延べ利用者数÷年間延べ開設日数	年間延べ利用コマ数÷年間延べ貸出可能コマ数×100	—	—	○	○	○	—	○	○		
		113	公園施設C(無料、建物あり)	○	○	○	○	○	(一)	—	—	—	—	—	○	○	—	○	—		
		114	公園施設D(無料、建物なし)	—	—	—	○	—	(一)	—	—	—	—	—	○	○	—	○	—		
12	閉校・廃止等施設	120	閉校・廃止等施設	○	○	○	○	—	(一)	—	—	—	—	○	○	○	—	—			
13	書庫・倉庫	130	書庫・倉庫	○	○	○	○	—	(一)	—	—	—	—	○	○	○	—	—			
14	その他施設	141	駐車場・駐輪場	○	○	○	○	○	(年間延べ利用台数)	年間延べ利用台数÷年間延べ開設日数	—	—	○	—	○	○	○	—	○		
		142	その他施設	○	○	○	○	○	(一)	—	—	—	—	—	○	○	○	—	—		
15	プラント系・仮設施設	150	プラント系・仮設施設	○	○	○	○	—	(一)	—	—	—	—	—	—	—	—	—			